

お茶会だより 3月号

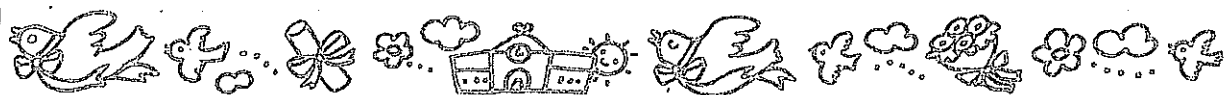
矢島保育園 R4. 3. 4 (金)

「最後のお茶会」という気持ちからいつも以上に真剣な表情でお茶室に入りました。「指先を伸ばす」「姿勢を良くする」「抹茶を全部飲む」など、一人一人がしっかりと自分の目標をたて、この日を迎えました。

心地良い緊張感の中、「自分で考え、自分で動く」子ども達はとても堂々としていて、この一年間の学びがしっかりと身につき、行えるようになった成長を嬉しく思いました。



お茶会終了後に、一年間のお稽古の証として、おしるしを一人一人植田先生からいただきました。自分の番が近づくにつれ、ドキドキが強まっている子もいましたが、大きな声で返事をしたり、植田先生の目をじっと見つめるその姿は自信に満ちあふれていました。



植田先生に感謝の気持ちを込めて、お礼のこたばを伝えお花をプレゼントしました。そして、一人一人先生と握手をして退室する時は、「ありがとうございます。」「とても楽しかったです」と、自分の言葉で感謝を伝える場面もありました。

子ども達にとって月一回のお稽古は、とても貴重な学びの時間でした。お茶会で学んだ「感謝の心、思いやり心、我慢する心」を忘れず、小学校でもがんばってくれることと思います。

【今月の床の間】



《茶花》「マンサク・ツバキ」

植田先生との最後のお稽古。ひなまつりをお祝いする華やかな床の間となりました。今回のお菓子は植田先生が用意してくださったもの。子ども達は目を輝かせ春を感じることができました。

《香合》「ハマグリ(宝尽くし)」



《茶菓子》「干菓子」

【お茶会の様子】

どれを選ぼうかな？



今までで、1番美味しいお茶になりますように！



お茶をどうぞ



お稽古楽しかったです



植田先生、1年間のお稽古、有り難うございました。
小学校に行っても頑張ります！